

多摩市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築協議会 令和6年度第1回 要点録

日 時	令和6年10月21日（月） 10:00～12:00	場所	多摩市役所 西会議室
出席	伊藤、田中、荒井、池田、野路、小川（岩田委員の代理）、立山、金森、関、平松（名簿順・敬称略）		
事務局	障害福祉課		
記録者	事務局		
項目	1 委員紹介 2 議題 ・アンケート調査の報告、アンケート調査結果から考えられる課題について ・当事者からの意見聴取について 3 その他 ・関係機関からの情報提供 ・次回日程について		
	詳細		
1 委員紹介	【事務局】 本日は五味田委員が欠席。 委員の交代について、R6.4.1 から上田委員に代わり野路委員、塩野目委員に代わり岩田委員、松田委員に代わり関委員が就任。 【会長】 上田委員の退任に伴い、副会長の選任を行う。会長指名で副会長を地域活動支援センターあんの立山委員としたい。 ⇒立山委員が副会長に決定。		
1 議題 ・アンケート調査の報告、アンケート調査結果から考えられる課題について	・事務局から資料2～4の説明 【事務局】 これまでの議論として、令和5年度に精神障がい者等の地域移行及び地域生活に関する課題の抽出及び対応策等の協議を行った。その中で、令和6年度に課題が実務者と合致しているかを把握するためのアンケート調査を実施することとなり、令和6年7月～8月に実施した。今年度第2回の協議会では、当事者へのヒアリング及び次年度に向けた目標設定を検討したいと考えている。 アンケート調査結果の総括として、令和5年度までに協議会で整理した課題と実務者が感じている課題は概ね一致していると分析している。アンケート調査結果から医療福祉の連携、支援内容に関する相談窓口の明確化、高齢部門との連携、研修の実施が課題と挙げられている。 【委員】 研修の実施について、アンケートからまだまだニーズが多数あることがわかり重要性		

	を感じた。 【会長】 様々な主体で広く研修は行われているところであるが、多摩市向け、より地域限定的なことができる良い。 【委員】 高齢部門との連携は重要な点かと思う。アンケートでも、課題として指摘する回答がやや多い。取組みを検討する必要がある。 【会長】 医療福祉の連携として視点もあった。医療機関連携について、限られた時間の中で苦労しているかと思う。医療機関として何ができるかを考えていきたい。 【委員】 病院側の様々な事情がある中で、体制整わず受け入れが厳しい時もある。質問だが、調査対象に精神科医療機関が含まれていない理由について聞きたい。 【事務局】 病院の意見は重要だが、2 医療機関から委員に来ていただいていることもあり今回は調査対象外とした。 【委員】 支援につながり見えている人だけでなく、うまく支援につながっていない人がもっといるのではないかと思う。 【委員】 業務の中でも大きな課題になっているのが、病識の無い方の対応である。困難ケースとなる場合が多い。 【委員】 もう少し踏み込んで未治療者や、地域移行支援会議の参加、生活困窮を掘り下げてよいのではないか。また、生活保護事業においては八王子市では訪問事業もやっているの、多摩市もしてみてもどうか。 【委員代理】 桜ヶ丘記念病院では地域移行強化病棟を設置し、の一まへの相談件数も増加している。未治療、サービスにつながっていないケースが多い印象がある。未治療者をどう拾いあげるかが課題である。 【委員】 未治療者も含め制度の狭間にいる方への対応については、まだ十分とは言えないと思うが、多摩市で重層的支援体制整備による検討がスタートしている。重要であるが難しい問題だと認識している。 【会長】 患者の家族に問題があり、支援ができていないというケースもある。 【委員】 地域ケア会議でも課題になっていることとは思う。8050問題については、見つけてからどう手を伸ばせが良いかが難しい。支援対象についても、精神障害と思ったら実は知的障害だったりする。身近な方が相談を受けて困っているケースが多い。 【委員】 8050問題については本当に難しく、高齢者から障がい者の方をどうにかしてくれ
--	---

	と言われることもある。権利擁護の問題もあり、虐待案件となっていることも多い。 【委員】 ８０５０問題については、地域の中で困り感が膨らんで出てくることもある。重層的支援体制整備事業については、多摩市社会福祉協議会の別部署が一部受託している。協力して取り組んでいきたい。質問だが、今回アンケート調査は精神障害を対象とする事業者のみ行ったのか。 【事務局】 概ね精神対象の事業所に協力をお願いした。 【委員】 今後、当事者の話も聞いて、材料を揃えていきたい。 【会長】 当事者からの意見聴取で見えてくる課題もあると思われる。
２ 議題 ・当事者からの意見聴取について	【事務局】 本年度第２回の協議会では、アンケート調査の結果も踏まえつつ、当事者から話を聞きたいと考えている。具体的にはピアサポーター複数名から意見を聴取したいと考えているがご意見等伺いたい。 【委員】 当事者へのヒアリングについては、どんな切り口で行う予定か。市としての課題など何か考えがあるのか。 【事務局】 当事者側からの意見聴取にあたり、事業者・支援者とは違う視点になることがポイントと考えている。具体的には、本協議会でも課題となっている地域移行という視点が一番かと考えている。 【委員】 確かに、入院している人が退院してどうか、今困っていることが出るのではないか。 【委員】 法人として、東京都の精神障害者地域移行促進事業委託を受託して２年目となった。現場では、基本入院している人のケアを行うなかで、個別面談や動機づけ支援、ピアサポーターの充実、当事者向けの研修などを行っている。 【会長】 今のご意見も踏まえ、聴取内容については事務局で検討をお願いしたい。 【委員】 今のご意見を踏まえ、地域移行という視点は重要であると再認識した。聴取内容については、事務局で検討し、事前にご意見いただきたい。メール等で調整させていただくのでご協力お願いしたい。
３ その他 ・関係機関からの情報提供	【委員】 桜ヶ丘記念病院の地域移行機能強化病棟の紹介をさせていただく。男女合わせて計２病棟、６０床×２、毎月１病棟２名ずつ計４名退院を目標に Ｒ6.8 月～11 か月継続していく。 【委員】

	精神障害者地域移行体制整備支援事業について紹介させていただく。東京都のホームページも参考にさせていただきたい。
3 その他 ・次回日程について	【事務局】 次回日程については 2 月を予定しているが、当事者とのヒアリング等調整するため改めて各委員に連絡させていただく。